流産や死産を繰り返す「不育症」助成遅れ

不育症患者全国推計約140万人
検査と治療により約8割出産可能

妊娠しても、流産を繰り返して出産に至らない「不育症」。厚生労働省の研究班によると、適切に治療すれば約8割が出産が可能とされる一方、一部は保険適用でないため、高額な治療費を余儀なくされています。

胎児を失った精神的ショックに加え、経済負担も重圧になっています。全国的に助成制度が徐々に広がり、平成29年11月現在で101の自治体が助成しています。埼玉県では平成30年度の開始に向け、助成の仕組みや金額など検討を進めています。

残念ながら福岡県内で助成制度を実施している自治体はありません。本市の不育症助成制度の実施を要望しました。

妊娠した女性の約4割が流産の経験があり、流産を繰り返す不育症患者は全国で約140万人、毎年約3万人が新たに発症していると推計されています。

不育症を知り、適切に治療すればたくさんの命を守ることができますが、不妊症と違い、未だ認知度が低いのが現状です。

不育症に関する情報提供や適切な周知活動について質問を行いました。また不育症の相談体制について、妊産婦接する機会の多い保健師の研修等の参加状況について、ホームページの掲載方法について提案しました。

フイクラボ で検索

口不在者投票と期日前投票の問題点

明るい選挙推進協会が2015年6月に行った調査によると、63・3％の一人暮らしの大学生は住民票を移していないことがわかりました。

また18・19歳の半数以上が住んでいる自治体に住民票を移していないとその自治体で投票することができないことを知らない若者もいるという結果がでています。福岡県内の自治体ではありませんでしたが、市外に居住する学生の投票を禁じている自治体もあります。

各自治体によって対応が違うことは大きな問題であると考えます。転居先で投票するためにも、住民票の異動とあわせて周知していく必要があります。

期日前投票では、宣誓書を記入し入場券を渡すだけで投票用紙を受け取ることができます。これは気軽に投票行動に向かいやすい反面、なりすましの危険性があると指摘しました。

実際に他市でなりすましが行われた事例を紹介し、本人確認のために身分証明書の提示などを提案しました。

福岡県は平成29年10月に行われた衆議院議員総選挙において、無効投票率が全国8位と高い状況です。無効票をなくすための啓発や有権者としての意識向上のために成人式での模擬投票の実施を提案しました。実際に松戸市では成人式に模擬投票を実施されています。主権者教育や実際に投票を体験することは重要です。

裏面につづきます

大野城市議会議員
みゆきで元気！
松田みゆき
ママさん議員活動報告

第27号
2018年1月発行

＜松田みゆき事務所＞
〒816-0983 大野城市
月の浦 5-11-15
TEL ：092-577-0884
FAX ：092-577-0884
メール：mm@matsudamiyuki.com

【裏面もあります！】
■全国で熱狂！マンホールカードとは
■大野北保育所
移転新築
■保育所延長利用増ー時保育減少傾向 ほか

横浜市では市内に住む大学生に対して積極的な投票を呼び掛けています。
福岡県全体で同様の取り組みを行うことで投票率向上に期待します。

□全国で熱狂！マンホールカードとは

日本のマンホールの蓋は全国各地デザインが違うご当地ものになっています。そのユニークさや美しさに惹かれて訪ね歩くファンが急増する中、マンホールカードが誕生しました。現在２５８自治体２９３種のマンホールカードが作成されています。昨年の11月に倉敷市で開催されたマンホールサミットは1日で３５００名の参加があったとのことです。

今回マンホールカードを使った観光振興として、２点提案しました。１点目に、配布場所を今年7月にオープンする大野城心のふるさと館で配布すること。２点目に新たにマンホールを作成することです。大野城市の紹介したい場所や施設の近くに1枚置くことにより市内散策のアイテムになります。実際にマンホールカードを手に入れるためのツアーもあり、今後もブームは続くものと予想されます。

マンホールカードの緯度経度をスマートフォンに入力すると配布場所までの経路がわかります。

□大野北保育所　移転・新築

市立大野北保育所の移転・建替の理由として①昭和53年3月の建築から約40年が経過しており、大規模な改修が必要な状況であること②現大野北保育所の前面道路が狭く送迎時に道路が混雑すること③待機児童が多い状況であるため定員拡充が必要であることが挙げられます。移転・建替先は桑の本公園（約２０７９㎡）を予定しています。桑の本公園は公園としての用途を廃止し、代替えの広場も整備される予定です。現在の場所での大野北保育所の運営は平成32年3月までになります。平成32年4月開所に向けた今後のスケジュール案が出されました。現在の建築面積７５０㎡から建替は１２００㎡を想定されています。債務負担行為補正として移転新築工事設計業務３２６０万円計上されました。

保育所整備　スケジュール（案）

平成30年2月以降	設計
平成32年度	工事
平成32年3月	新園舎完成
平成32年4月	開所

□保育所延長利用増　一時保育減少傾向

平成28年度の保育所延長保育利用数（私立12園）は増加し、一時保育（私立4カ所実施）は減少傾向にあることがわかりました。子どものための教育・保育給付費（施設型給付費）返還金は６４６万３千円でした。

□月の浦公民館改修工事

平成３０年度実施予定の月の浦公民館リニューアル工事設計監理業務として８４６万７千円債務負担行為補正が計上されました。

◆知っていますか？ひとり親家庭支援事業

ひとり親家庭の方が就職に有利な国家資格を取得するために、養成機関で1年以上修業している場合に修業開始から3年間を上限に訓練促進費を毎月支給する高等職業訓練促進給付金があります。支給額は月額７万５００円（市町村民税課税世帯）月額１０万（市町村民税非課税世帯）詳しくは子育て支援課にお問い合わせください。

～松田みゆきプロフィール～

1976年5月30日春日市生まれ
春日西幼稚園卒園
春日西小学校卒業
春日西中学校卒業
福岡県立春日高等学校卒業
（15期生　現在　同窓会副会長）
中村学園短期大学食物栄養科卒業（40期生幹事）

2011年大野城市議会議員　初当選
福祉文教委員会（～2013年）
住居表示審議会（～2013年）
2013年都市環境委員会（2015年）
広報委員会（～2015年）
2015年大野城市議会議員2期目当選
総務企画委員会副委員長
決算特別委員長

2017年福祉文教委員長
議会運営委員会副委員長
広報委員会委員
土地開発公社理事

月の浦小学校PTA副会長
月の浦小学校読み聞かせボランティア